

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【公開番号】特開2002-109547(P2002-109547A)

【公開日】平成14年4月12日(2002.4.12)

【出願番号】特願2000-294283(P2000-294283)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 7/20

H 0 4 N 7/18

【F I】

G 0 6 T 7/20 2 0 0 Z

H 0 4 N 7/18 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月31日(2003.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力画面に対してスリット状に定義された第1の検出領域を持つ第1の移動体検出手段と、第1の検出領域と同一直線上にスリット状に定義され第1の検出領域と長さの異なる第2の検出領域を持つ1または複数の第2の移動体検出手段と、前記第1、第2の移動体検出手段の出力を受け前記スリットを通過する移動体の前記スリットの長さ方向の大きさを判定する移動体測定手段を備えたことを特徴とする移動体検出測定装置。

【請求項2】

第2の検出領域は第1の検出領域を分割して定義された1または複数の検出領域であることを特徴とする請求項1記載の移動体検出測定装置。

【請求項3】

第2の検出領域は第1の検出領域の一端から延び第1の検出領域より長さを短くして定義された1または複数の検出領域であることを特徴とする請求項1記載の移動体検出測定装置。

【請求項4】

第2の検出領域は第1の検出領域の前記画面上の上方の一端から延び第1の検出領域より長さを短く且つ互いに長さの異なるよう定義された1または複数の検出領域であることを特徴とする請求項3記載の移動体検出測定装置。

【請求項5】

各前記移動体検出手段は前記第1、第2の検出領域に移動体が侵入することにより第1の値を取り、非侵入のとき第2の値を取り、前記移動体検出手段のそれぞれの値により全移動体検出手段に対する測定コードを作成する手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の移動体検出測定装置。

【請求項6】

前記第1、第2の検出領域のそれぞれに対応して設けられ、前記第1第2の検出領域の画像構造変化量を記憶する記憶部を有し、前記移動体測定手段は第1の検出領域の前記画像構造変化量が最大のとき前記測定コードと予め定められたコードおよびそれに対応する移動体の前記スリットの長さ方向の大きさの情報と比較することにより移動体の前記スリットの長さ方向の大きさを測定することを特徴とする請求項5記載の移動体検出測定装置。

【請求項 7】

映像および画像を外部より入力する手段と、入力された映像および画像上に基本線および分割線からなる同一直線上で検出対象を定義し移動体を検出するものであり入力された映像および画像に対して移動体の有無の判定を行なう着目領域を少なくとも1つ以上設定する移動体検出手段と、ある特定のフレームおよび画像における前記着目領域のデータと各フレームおよび画像での着目領域のデータとの画像構造の相関を算出する手段と、算出された複数の画像構造の相関値のパターンから移動体の存在有無や背景画像の変更などの移動体検出イベントを決定する検出手段と、前記検出手段から出力される移動体検出結果をコード化し移動体検出を決定する手段とを備えたことを特徴とする移動体検出測定装置。

【請求項 8】

入力画面上でスリット状の第1の検出領域を定義し、第1の検出領域と同一直線上に第1の検出領域と長さの異なるスリット状の第2の検出領域を定義し、第1、第2の検出領域の出力を受け前記スリットを通過する移動体の前記スリットの長さ方向の大きさを判定することを特徴とする移動体検出測定方法。

【請求項 9】

コンピュータによって移動体の検出測定をするプログラムであって、入力画面上でスリット状の第1の検出領域を定義し、第1の検出領域と同一直線上に第1の検出領域と長さの異なるスリット状の第2の検出領域を定義し、第1、第2の検出領域の出力を受け前記スリットを通過する移動体の前記スリットの長さ方向の大きさを判定することを特徴とする移動体検出測定プログラムを記録した記録媒体。

【請求項 10】

一又は複数の画像を有する画像情報を表示するための縦方向と横方向からなる二次元領域に設定された前記横方向が同一であり縦方向が異なる第一と第二の検出領域における、前記フレーム画像同士の変化量を検出する第一と第二の検出部を有する移動体検出装置を用いて、前記画像情報に関する測定値を計算する移動体検出測定方法であって、

入力された画像情報を構成する各フレーム画像について、前記各検出部により検出される前記変化量が所定の閾値よりも大きい場合は第一の値を、前記変化量が前記閾値以下の場合には前記第二の値を前記各検出領域と対応付けて格納されたテーブルを、前記各フレーム画像と対応付けて保持し、

前記第一の検出部により検出された前記変化量が最大である第一のフレームと対応付けて保持されている前記テーブルから、前記第一と第二の検出領域における前記値を抽出し

、
抽出した前記値に基づいて、入力された前記画像情報に関する前記測定値を計算することを特徴とする移動体検出測定方法。